

船舶事故等調査報告書

平成25年2月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第185号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年9月17日 14時10分ごろ
発生場所	岡山県玉野市宇野港 宇野港田井灯標から真方位241°600m付近 （概位 北緯34°30.7′ 東経133°57.7′）
事故等調査の経過	平成24年10月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ロールオン・ロールオフ貨物船 第一はる丸、7,751トン 140347、大島物流株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷外板に凹損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長ほか10人が乗り組み、宇野港田井岸壁付近においてタグボート1隻を船尾中央部に配置して着岸作業中、東風に圧流され、平成24年9月17日14時10分ごろ左舷外板が同岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 6、視界 良好 海象：波高 約2～2.5m、潮汐 下げ潮の中央期 玉野市には、本事故当時、強風、波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	本船は、全長145.03mであり、本事故当時の喫水は、船首約5.8m、船尾約6.8mであった。 船長は、強風の場合には、離着岸時に支援させるタグボートを2隻配置させていたが、本事故当時、風速が約10～12m/sであったのでタグボートを1隻とした。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、宇野港田井岸壁に着岸作業中、船長が、風速約10～12m/sであったので、着岸時に支援させるタグボートを1隻としていたことから、東風に圧流され、左舷外板が同岸壁に衝突したものと考えられる。

原因	本事故は、本船が、宇野港田井岸壁に着岸作業中、船長がタグボートを1隻としていたため、東風に圧流され、左舷外板が同岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	運航者は、本事故後、強風、波浪注意報が発表されている場合には、離着岸作業中に作業支援船を2隻付けるよう本船側に指示した。